



なすびの花

ヒヤリハット

新しい期となり、先月、令和3年度の社長方針が発表され、各部署ともに、新たな目標に向かって、取り組み始めました。

社長方針では、

『各部署もう一度業務のフローを見直し、4M3Hの徹底、仕事の標準化を行うために、社外を知り、自社を知ってほしい』

『当たり前のように受注後に各部署がやるべきことを理解して、指示なくとも業務がミス・漏れなく進む状況を目指す』

という、2本柱を示されました。

方針に対して、品質に対する取り組みの強化と、ミスをしない仕事のフローを作るようにとの指示も出ています。

作業に慣れてしまうと、最初の緊張感が緩み、ミスにつながってしまうことがあります。

本社工場内に、製造課での毎月の取り組み内容と実績を展開されていますが、その中の一つに、『ヒヤリハット活動』があります。

『ヒヤリハット』というのは、仕事の中に、ヒヤッとしたことや、ハッとしたことで、一歩間違えれば、事故やミスの可能性のあった事案です。

ハイインリツヒの法則 (1..29..300の法則)

という法則で、1件の重大事故の裏には、29件の軽傷事故が、そのまた裏には、300件の無傷事故(ここが『ヒヤリハット』です)があるとされています。

労働・日常生活の中で、事故発生の背景には必ず小さな『ヒヤリハット』が潜んでいると考えられています。

『ヒヤリハット』は、「危なかった」と感じてても、実際には無事だったので、大して気にもかけず、すぐに忘れてしまうような内容かもしれません。

ですが、職場の安全や品質・環境の改善のためにも、ひとつひとつに対して、対策を考えておくことが、大きなミスを予防することに繋がります。

本社製造課では以前から取り組まれています。それぞれの部署で、作業中にヒヤッしたり、ハッとしたことは、情報共有し、事故やミスを回避するために、どうしたら良いかを話し合い、ひとつずつ『ヒヤリハット』をなくしていくことがとても大切です。

大きな事故やミスを起こしてしまう前に、『ヒヤリハット』の段階で改善していきましょう。

大雨の時の避難

今年8月は例年になく、何日も何日も大雨が降り続いて、不安な日々を過ごしました。

あれだけ降り続けると、会社の周りは山なので、勤務中の土砂崩れが心配になりますし、勤務中であっても自宅周辺の床上・床下浸水や道路の冠水も不安です。

大雨により、自宅や職場に危険が迫り、安全な場所に避難することになった時、周辺の状況が悪化する前に、**早めに行動**することが最も大事なことです。

できるだけ2人以上で行動し、冠水している場所は、足元も見えず危険なので、通らないようにしましょう。

浸水の深さが膝の高さを超えると、歩くのが困難になりますし、また、車での移動も危険です。

特に夜間は、更に状況が分かりづらくなりますので、夜間の移動は避け、**明るい間に行動**しましょう。

9月10日は台風による災害の可能性があります。

日ごろから、家庭の中でも災害を想定し、ハザードマップを確認したり、連絡方法を話し合っておきましょう。

～今年度の「なすびの花」～

早いもので2016年の創刊から、「なすびの花」も6年目を迎えました。

今年度の「なすびの花」は、社員の皆様に、改善活動の実例・具体例をご紹介いただくと、是非皆さまにもご参加していただきたいと考えています。

また、皆さまからの寄稿なども、随時お待ちしております。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。